

企業景況調査報告書

(令和元年10～12月期)

< 目次 >

質問1	調査の概要・結果概要	1
質問2	直面している経営上の問題点	2
質問3	消費増税による影響について	3
質問4	意見等自由記載欄	4
DI	集計結果・分布	5
	調査票様式	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2019年10～12月）

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100社 (建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社)
調査方法	各事業所宛てにFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。
調査時期	令和2年1月上旬
回収状況	95社(回収率95%) ※前回(7～9月)98社 (建設業21社、製造業19社、卸売業10社、小売業19社、サービス業20社、その他6社)

＜今期の状況＞（5ページ表参照）

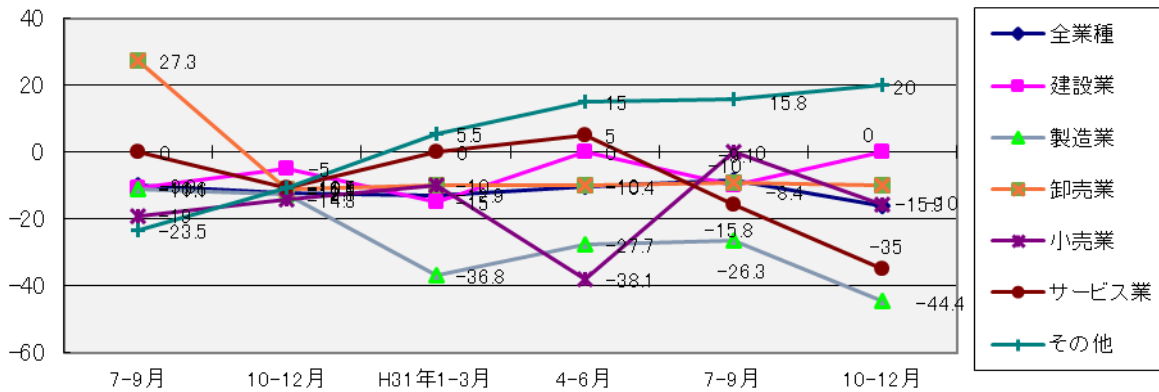
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲8.4から下降し、▲15.9となった。業種別に見ると、製造業・卸売業・小売業・サービス業で下降しており、それぞれ製造業は▲44.4（前期▲26.3）、卸売業は▲10.0（前期▲9.1）、小売業は▲15.8（前期0.0）、サービス業は▲35.0（前期▲15.8）と下降している。一方、建設業・その他の業種では上昇しており、建設業は0.0（前期▲10.0）、その他の業種は20.0（前期15.8）という状況である。

＜来期の見通し＞（5ページ表参照）

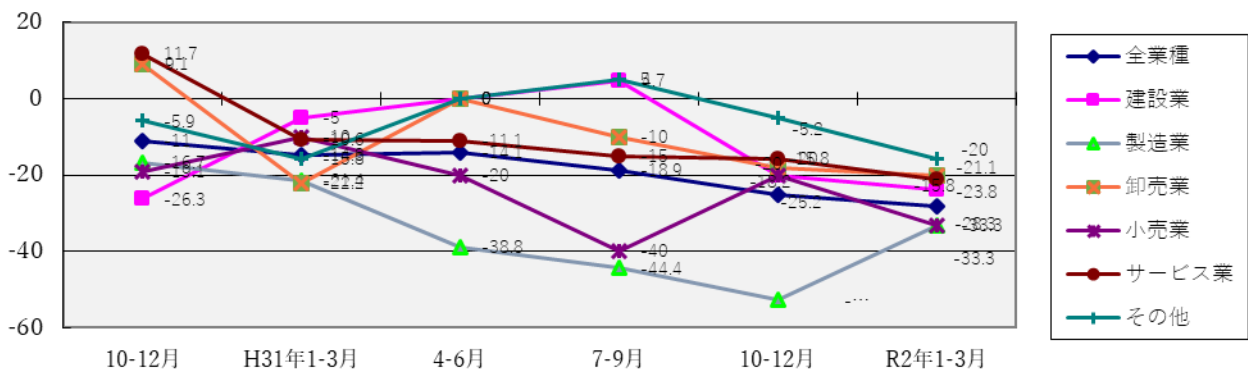
来期の見通し(2020年1～3月)では、全業種のDI値は前期の▲25.2から下降し、▲28.3となった。業種別に見ると建設業は▲23.8（前期▲20.0）、卸売業は▲20.0（前期▲18.2）、小売業は▲33.3（前期▲20.0）、サービス業は▲21.1（前期▲15.8）、その他の業種は▲15.8（前期▲5.2）と5業種で下降する見通しとなった。一方、製造業は▲33.3（前期▲52.6）と上昇する見通しとなった。今期・来期ともに下降傾向が目立ち、来期の見通しに関しては全ての業種でマイナスを示す結果となった。後述するが消費増税に伴い売上の減少等の課題が出てきており、来期にもその影響に不安を抱く事業所が多いことが窺える。

＜業況判断DIの推移＞ ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

(1) 今期の状況 ＜業種別＞



(2) 来期の見通し＜業種別＞



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

[上位項目]

※ () 内は件数

分類		1位	2位	3位
全業種	当期	売上・受注減少 (39)	消費・需要の停滞 (35)	経費の増加 (32)
	前期	売上・受注減少 (41)	人手不足 (38)	消費・需要の停滞 (32) 経費の増加 (32)
建設業	当期	人手不足 (10)	経費の増加 (9)	売上・受注減少 (8) 利益率低下 (8)
	前期	人手不足 (12)	原材料・仕入価格上昇 (9)	経費の増加 (8) 利益率低下 (8)
製造業	当期	売上・受注減少 (11)	経費の増加 (9)	競争激化 (5) 店舗・生産設備不足・老朽化 (5)
	前期	売上・受注減少 (11)	原材料・仕入価格上昇 (7) 経費の増加 (7)	人手不足 (6)
卸売業	当期	競争激化 (6)	消費・需要の停滞 (5) 売上・受注減少 (5)	原材料・仕入価格上昇 (3) 利益率低下 (3)
	前期	売上・受注減少 (7)	競争激化 (5)	消費・需要の停滞 (4) 原材料・仕入価格上昇 (4)
小売業	当期	消費・需要の停滞 (13)	競争激化 (5) 売上・受注減少 (5) 人手不足 (5)	資金繰り難 (4)
	前期	消費・需要の停滞 (12)	競争激化 (8) 売上・受注減少 (8)	人手不足 (6) 利益率低下 (6)
サービス業	当期	消費・需要の停滞 (9)	売上・受注減少 (8)	競争激化 (6) 利益率低下 (6)
	前期	人手不足 (8)	経費の増加 (7)	消費・需要の停滞 (6) 売上・受注減少 (6)
その他	当期	原材料・仕入価格上昇 (3) 経費の増加 (3)	競争激化 (2) 店舗・生産設備不足・老朽化 (2) 人手不足 (2) 利益率低下 (2)	消費・需要の停滞 (1) 売上・受注減少 (1) 売上・受注単価低下 (1) 原材料・在庫不足 (1)
	前期	経費の増加 (3) 人手不足 (3)	売上・受注減少 (2) 原材料・仕入価格上昇 (2) 店舗・生産設備不足・老朽化 (2) 新分野進出 (2)	競争激化 (1) 売上・受注単価低下 (1) 利益率低下 (1) 代金回収難 (1)

17 その他

- ・熟練者の不足
- ・ネットで買う人が増加
- ・新商品開発力

質問3 消費増税による影響について

10月から開始された消費増税及び軽減税率制度の導入について、約3カ月が経過した現時点における影響について調査を行った。

まず、消費増税による影響については、「特に大きな影響はない」、「前回の増税ほどの影響はない」等の意見が大半を占めた。一方で、一部の事業所では増税前の駆け込み需要による反動が見られるという意見が挙げられた。また、キャッシュレス還元事業の影響もあり、クレジットカード決済やスマホ決済による支払いが増加したとの意見もあった。

	増税による影響
建設業	・民間工事が減少している ・資材単価がUPし、原価率が上がった ・増税前の9月は駆け込み需要で今年の売上の1.5倍あった
製造業	・自動車の販売台数に影響があり、多少影響を受けている ・全体的には消費は低調である
卸売業	・10～12月と売上が減少した
小売業	・売上が減少し、消費意欲の低下を感じる ・駆け込み需要の反動により売上減少 ・全体の売上は減少したが、クレジットカードの売上は増えている
サービス業	・客数減少による売上減少 ・飲食業界では景況が少し落ち込んでいる ・増税により消費者は幾分か財布の紐が締まっている感じがある
その他	・消費低迷に伴う売上の減少

軽減税率導入に関して顧客や取引先との間で問題は生じたかという問いに対しては、「問題が生じた」という回答は4%であり、「問題は生じていない」という回答は96%であった。「問題は生じていない」という回答が大部分を占める結果となり、テレビ等のメディアでも多く取り上げられていたことから制度について理解している人が多かったことが窺える。一方で、「問題が生じた」と回答した事業所からの意見としては、「説明が難儀である」、「仕入れの煩雑化」等が挙げられた。また、キャッシュレス還元事業の対応の遅れに困っているという意見もあった。その他、「今のところ問題は生じていないが今後起こる可能性はある」という意見もあり、まだまだ先行きに不安が残る結果となった。

質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・来年は集客方法、単価UPを考える年になる。
- ・人手不足が課題。働き方改革の実施も待ったなしで、人手不足を助長しているところです。
- ・昨年より地元中部地区の箱物公共物件もなく、建築を筆頭に不況感がある。今期もさらに建築業界の不況感は拭えない。行政側もいつも「予算がない」が口癖になっているが、予算を何とかつけて公共事業（建築設備）をお願いしたい。このままでは建築関係に携わる人がいなくなってくる。

【製造業】

- ・得意先の生産ラインを県外、海外へ移管。

【卸売業】

- ・コンビニ、量販店等の進出により売上が減少。

【小売業】

- ・キャッシュレス還元事業で決済方法の選択肢は増えたが、+αの売上はほとんどない。支払方法が変わるだけなので雑務は増えた。
- ・景気対策として、キャッシュレス還元事業の期間を延長していただきたい。

【サービス業】

- ・消費税撤廃。

【その他】

- ・市役所の移転に伴い近隣の活性化に期待しており、周辺の不動産の流通に働きかけをしたいと考えているが、行政との連携があると良いと思っている。
- ・売上減少。従来型のリーシングによる入店店舗の限界。
- ・原油価格の高騰による運行コストの増大。

D I 集 計(前年同期比=2019年10~12月期、来期の見通し=2020年1~3月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-16.8	-37.3	5.4	-3.3	-20.0	-36.5
製造業	-31.6	-42.1	15.8	-10.5	-36.8	-47.4
非製造業	-13.2	-36.0	2.7	-1.4	-15.8	-33.8

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.1	-11.8	8.4	5.3	-11.8	1.1
製造業	-11.1	-16.6	5.3	5.3	-5.3	-5.3
非製造業	0.0	-10.7	9.2	5.4	-13.5	2.8

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-15.9	-28.3
製造業	-44.4	-33.3
非製造業	-9.2	-27.0

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-16.8	-37.3	5.4	-3.3	-20.0	-36.5
建設業	9.5	-33.3	5.0	0.0	4.8	-23.8
製造業	-31.6	-42.1	15.8	-10.5	-36.8	-47.4
卸売業	-40.0	-60.0	10.0	20.0	-40.0	-40.0
小売業	-21.0	-33.3	-5.3	-23.5	-26.3	-38.9
サービス業	-40.0	-35.0	10.5	10.5	-35.0	-26.3
その他	66.6	-16.7	-16.6	-16.7	50.0	-66.7
非製造業	-13.2	-36.0	2.7	-1.4	-15.8	-33.8

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.1	-11.8	8.4	5.3	-11.8	1.1
建設業	4.8	0.0	28.5	23.8	-19.0	0.0
製造業	-11.1	-16.6	5.3	5.3	-5.3	-5.3
卸売業	-10.0	-10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	0.0	-22.2	5.2	0.0	-5.6	0.0
サービス業	-5.0	-15.0	0.0	-5.0	-26.3	5.3
その他	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2
非製造業	0.0	-10.7	9.2	5.4	-13.5	2.8

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-15.9	-28.3
建設業	0.0	-23.8
製造業	-44.4	-33.3
卸売業	-10.0	-20.0
小売業	-15.8	-33.3
サービス業	-35.0	-21.1
その他	20.0	-15.8
非製造業	-9.2	-27.0

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(2019年10~12月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2019年10~12月)の状況と、今期と比較した来期(2020年1~3月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他: 具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】10月に消費増税が開始されてから約3カ月が経過しましたが、それに関連して以下の質問にご回答ください。

1. 増税による貴社への影響についてご記入ください。

[_____]

2. 軽減税率導入について、顧客や取引先等との間で問題は生じましたか。また、「問題が生じた」と回答した方は、その内容についてご記入ください。

① () 問題が生じた / ② () 問題は生じていない

[_____]

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

[_____]

ご協力ありがとうございました。